

# 不育症外来受診のためのチェックリスト

1) 次の項目を満たしているか確認をお願い致します。

超音波で子宮内に胎嚢を認めた後の自然流産あるいは死産が2回以上ある状態。

- 生化学妊娠（妊娠反応が陽性となるが胎嚢が確認される前に出血とともに妊娠反応が消失する）は日本では流産の回数として含めません（産婦人科診療ガイドライン 2020 産科編）
- **流産1回など不育症の定義を満たさない方の自費検査は当外来では行っておりません。**
- 抗リン脂質抗体症候群合併妊娠の検査については地域連携でプレコンセプションケア外来の予約をお願い致します。

2) 次の項目についてもご確認下さい。

子宮卵管造影検査、MRI を行っている

（当該検査を実施している場合は、画像データを紹介状に添付してください）

流産歴がある

（流産歴がない不妊症の方は、当科では不育症に関する検査を受けていただくことはできません）

- 不妊症患者に対して妊娠が成立した際の流産予防のために aPL 検査を行っておくことは現時点では過剰診療であり、本来不必要である抗凝固療法につながる可能性があります（生殖医療の必須知識 2020）

ご夫婦揃って外来を受診されると検査がスムーズとなります。

主治医の先生へ

本用紙を提出された患者さんは、富山大学の不育症外来受診を希望されています。

受診の対象に該当するか判断していただき、チェックリストを『紹介状』に同封の上、患者さんにお渡しいただくようお願いいたします。詳しくは、当院ホームページをご確認ください。

富山大学附属病院 産婦人科 担当：伊東 雅美  
本件問合せ先：産婦人科外来 076-434-2315

2024.5.17～